

行数 ↓ 読み仮名あり ↓

【第5章】戦後日本の枠組み-天皇、憲法、東アジア-

2. 日本の宗教と国家神道 (p. 126)		
6	世俗的	せぞくてき 世間一般に見られるさま。宗教とは無縁の状態。
16	* 祭政一致	さいせいいつち 祭祀の主宰者と政治上の権力者が同一であること。また、そのような思想および政治形態。古代国家などに多くみられる。政教一致。
18	* 祭祀	さいし 神や祖先を祭ること。祭典。
30	* 大乘仏教	だいじょうぶっきょう 紀元前一世紀以後インドに発生し、中国・日本・チベットなどに伝わった仏教の流れの通称。
39	* 安心	あんじん <仏語>①仏法の功德によって、迷いがなくなった安らぎの境地。 ②阿弥陀仏の救いを信じて、浄土往生を願う心。
49	律令	りつりょう 律令とは、律は刑法、令は行政法・訴訟法などに相当する。律令制は、律令に基づく制度のこと。主に古代東アジアで見られた中央集権的な統治制度であるといわれる。
49	律令期	りつりょうき 日本の古代において、律令が政治支配の基本として独自の役割を担った時代。広義には7世紀半ばから10世紀頃までの期間。律令時代ともよばれる。
p. 129	無頓着	むとんちゃく 少しも気にかけないこと（さま）。物事にこだわらないこと（さま）。